

平成 27 年 5 月 1 日

## プロジェクト報告書

NPO 法人 青少年の自立を支える会シオン

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

自立援助ホーム「みらい えがおの家」の改装工事

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

何らかの障害を持つ児童が自立するためには、より長い期間を要します。福祉のネットワークが必要となる者も出てくることでしょう。彼らに限っては、20 歳を超えた後も、アフターケアとして関わりを持ち、心の成長を促していきたいと考えています。そのためには、一つのホームで複数の障がい児童を抱え込むことは、経済的にも職員の体制的にも無理が生じます。ホームを2つに分化し、各ホームの経済的、職員の体制的な負担を最低限にすることで、安定したホームの運営を図りたいと考えています。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

自立援助ホーム「みらい えがおの家」を、計画通り平成 27 年度に開所するため、改装工事を行いました。新規ホームへ入居を予定している青少年に対し、より良い援助ができるよう、準備を整えることができましたと考えています。

#### 自立援助ホーム「みらい えがおの家」の改築工事

改築場所	改築内容
トイレ	壁紙張替、一部フローリングの張替
脱衣所	フリーリング全面張替
キッチン	水漏修繕、蛇口交換
洋間 A	東側引戸の解体及び構築、壁紙張替
洋間 B (居間)	フローリング2か所修繕、壁紙張替
洋間 C	東側引戸の解体及び壁の構築、南側に壁と窓、引き戸の構築

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

本プロジェクトにより、同じ家屋にホームをもう一つ設立することができました。玄関が2つある、二世帯住宅に近い構造です。2つのホームが隣接することで、職員が心理的に一人勤務となることはありません。また、新たに雇用した職員2名は、常に経験豊富な職員と勤務できるよう心がけ、彼らの成長をスムーズに促すことができるよう工夫しました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

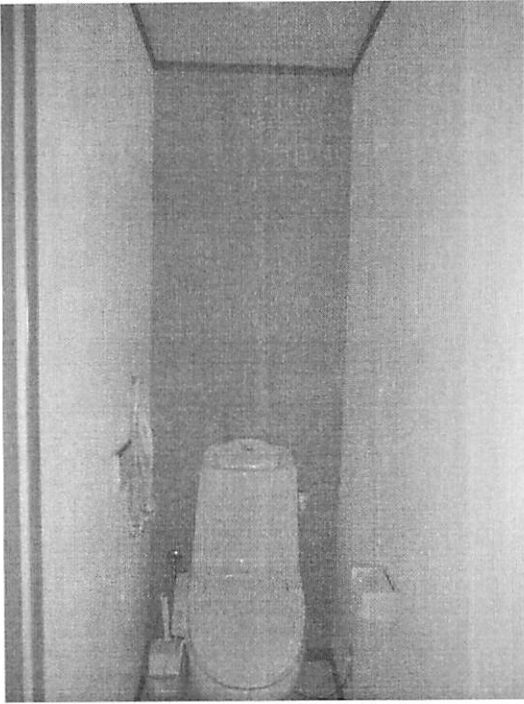
本プロジェクトは、ホームを2つにし、職員数を増やすことで、サービスの質向上を図ることが目的です。20歳を超えても、すぐに自立ができない者を、私的契約を交わし、引き続き援助できるようになりました。彼らはさまざまな問題を抱え、手がかかり、対応に時間をとられます。職員を2名増やし、職員の負担軽減を図りました。また、2つのホームが互いに協力しあうことで、問題が起きそうなときの複数職員による指導が可能となりました。これは問題を起こす者だけでなく、他入居者の人権を守ることにもなります。以上のように、本プロジェクトは、入居者に対し、より良い援助ができる体制を整える一助となりました。ありがとうございます。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

特になし

トイレ写真



トイレ  
壁紙張替、一部フローリングの張替を  
しました。

食堂 (写真)



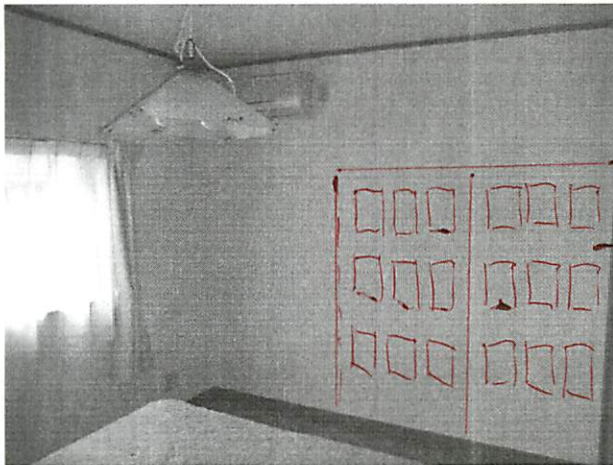
キッチン  
水漏修繕、蛇口交換をしました。また鍵を取付けました。

脱衣所写真



脱衣所  
壁紙を張り替えました。

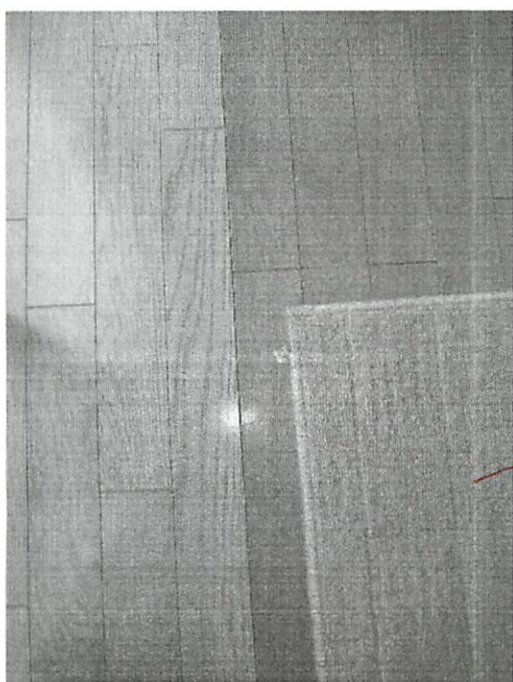
洋室 A 写真



洋室 A  
引戸解体、壁構築、壁紙張替をしました。

→ 引戸があった場所

洋室 B 写真

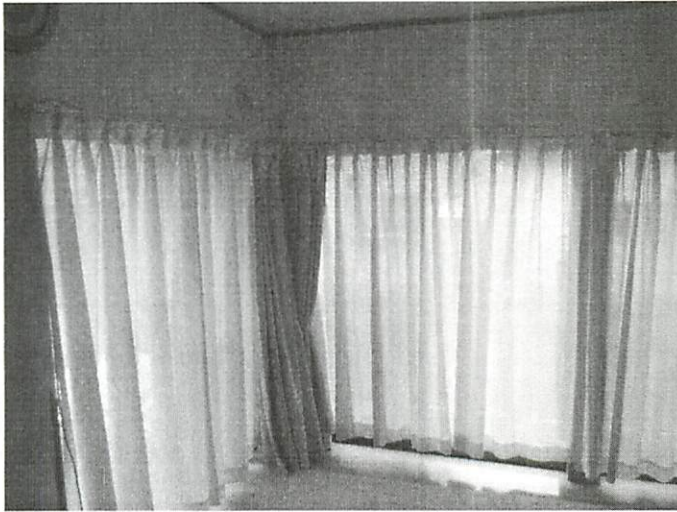


洋室 B  
フローリング 2 か所修繕

左が新しいフローリングです。修繕ヶ所  
が一見で分かってしまうため、じゅうた  
んを敷く予定です。

じゅうたん

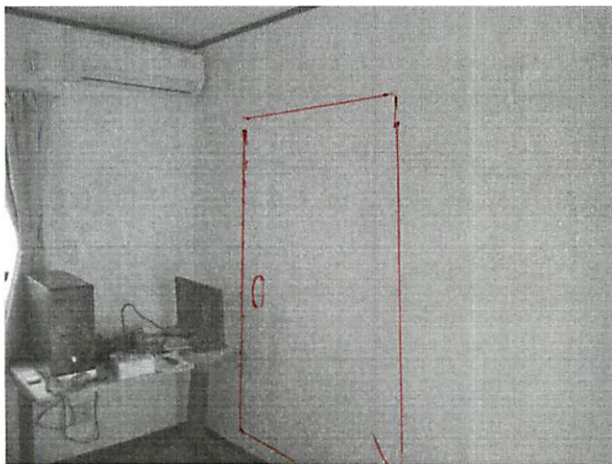
洋間 B 写真



洋間 B

壁紙を張り替えました。

洋間 C 写真 (東側)



引戸があった場所

洋間 C

東側引戸の解体及び壁の構築をしました。

洋間 C 写真 (南側)



洋間 C

壁を構築し、引き戸を設置しました。引戸は洋室 A のものを利用しコスト削減をしました。